

厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）
分担研究報告書

感染管理

研究分担者	徳田 浩一	東北大学病院	感染管理室
研究協力者	金森 肇	東北大学病院	総合感染症科
	池田 しのぶ	東北大学病院	感染管理室
	千田 貴恵	東北大学病院	感染管理室

研究要旨 研究班で作成している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引きに関して、感染管理に関する情報を収集し改訂に貢献した。前年度に宮城県内の14保健所（宮城県9施設、仙台市5施設）を対象としたアンケート調査を実施したところ、行政(保健所)と医療機関の連携を深めるための対策として、有事に備えた研修会や意見交換会の実施を望む声が多かったことから、本年度は宮城県内2か所の保健所を対象として意見交換の機会を設定した。COVID-19等の新興感染症対策において、医療機関と保健所の連携を深めることは重要である。

A. 研究目的

昨年度の本研究班活動の一環として、宮城県内の14保健所（宮城県9施設、仙台市5施設）を対象としてアンケートを実施したところ、行政(保健所)と医療機関の連携を深めるための対策として、有事に備えた研修会や意見交換会を実施してほしい、との意見が多数得られた。これは特に、宮城県が管轄している保健所に多かったことから、本年度は加算2又は3の医療機関との合同カンファレンスにおいて、医療機関を所在する地域（仙台市以外）を管轄している保健所に呼び掛けて、院内感染対策だけでなく、新興感染症をはじめとした幅広い感染対策を対象に意見交換会の機会を設けた。

2012年度診療報酬改定で新設された感染防止対策加算は、2022年度診療報酬改定において感染対策向上加算に改定され、加算2算又は3の医療機関と合同で実施してきた従来のカンファレンスに替えて、保健所、地域の医師会と連携して、加算2又は3の医療機関と合同で、年4回以上カンファレンスを実施すること（このうち1回は、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施すること）と施設基準が変更された。

B. 研究方法

宮城県内の2保健所を対象とした意見交換会および訓練の実施

B-1 対象保健所：大崎各保健所、塩釜保健所

各保健所に対して、事前に意見交換会で取り上げて欲しいテーマや訓練内容について質問した。

B-2 意見交換会は、加算1医療機関と加算2又は加算3医療機関と連携開催する合同カンファレンスの場とした。

B-3 カンファレンス終了後に意見交換会についての感想や今後の課題に関するアンケートを行った。

（倫理面への配慮）

本研究では、特定の研究対象者は存在せず、倫理面への配慮は不要である。

C. 研究成果

C-1 公立加美病院におけるカンファレンス

1.1 対象施設：大崎保健所

1.2 実施日：2022年9月27日

1.3 参加者：保健所所長、主幹兼企画員（企画班）

C-2 公立黒川病院におけるカンファレンス

2.1 対象施設：塩釜保健所

2.2 実施日：2022年9月30日

2.3 参加者：保健所所長、地域保健福祉部技術次長（地域医療担当）、班長（企画班次長兼企画員）、技師（地域保健班）

公立加美病院と公立黒川病院との事前相談では、2 施設とも个人防护具の着脱に関する訓練を要望したため、それを踏まえて大崎保健所と塩釜保健所に、追加の議題や訓練の要望を募ったが、特に異論や追加の要望はなかった。

合同カンファの当日は、加算2 医療機関（公立加美病院、および公立黒川病院）から現状報告（抗菌薬使用状況、微生物検出状況、感染対策の実施状況）と、それらに関連した様々な課題に関する質疑応答が行われた。その後、个人防护具の着脱訓練として、実際に加算2 医療機関で使っている个人防护具を使って着脱時の注意点を再確認するとともに、N95マスクのフィッティングテスターを用いて定量式フィットテストを実施した。以上の話し合いから訓練まで、全ての合同カンファレンスの内容に両保健所が参加した。話し合いや訓練のあいだに、保健所からコメントや質問は特になかった。

合同カンファ後に実施したアンケートでは、医療機関との連携を深める良い機会と思うが、1回では十分に評価できない、等の回答だった（資料1）。

D. 考察

カンファレンスでは事前に協議したい内容について意見を募ったが、特段の要望はなかった。また、カンファレンス開催時にも、質問やコメントなどの発言はなかった。これは、設定した意見交換の機会が、加算1と加算2 医療機関（あるいは加算1と加算3 医療機関）の合同カンファレンスの場であったことや、初めての機会であったことによる遠慮があったのではないと思われる。合同カンファレンス後のアンケートでは、「よい機会になった」「1回では分からない」との意見が

得られたことから、このような機会を繰り返し設けることによって、今後より積極的に質問やコメントなどの発言が得られるようになると期待された。

感染対策向上加算では、加算1 医療機関に対して、加算2 又は加算3 医療機関との年4回以上の合同カンファレンスの開催が施設基準として求められているため、行政（保健所）とさらに個別の話し合い等の機会をさらに設けることは、どの加算1 医療機関においても難しいのではないと思われる。今回の意見交換会に際して、事前アンケートにおける要望や、合同カンファレンスにおいて質問やコメント等の発言が無かった点については、本来は合同カンファレンスの場であるという保健所側の遠慮があったのではないかと考えられる。ただし、事後アンケートでは有用性を評価する意見が得られ、また今回は初回の参加という「様子見」の要素もあったと思われるため、今後はより積極的に参加いただけるものと期待される。実際、2023年3月10日に合同カンファレンスを実施した際も保健所から職員が参加して、質問やコメントなど、前回以上の発言がみられた。今後も参加いただく際には、事前にディスカッションや訓練に関して要望をうかがったうえで開催することが望ましいと思われた。

COVID-19の流行により多くの医療機関、特にCOVID-19が2類相当とされ、昼夜を問わずCOVID-19の新規入院患者を多数受け入れてきた医療機関のいずれもが痛切に感じてきたことと思われるが、患者の探知から医療機関への収容、診療の開始といった、適切な医療を患者へ円滑に提供するためには、保健所をはじめとした行政との連携が必須である。COVID-19の流行での経験を、今後の新興・再興感染症の流行に備えた教訓として生かすべく、平時における連携体制の構築が重要と思われる。保健所には感染症の専門家が少なく、COVID-19対応に際しても疑問を抱えながら活動していたことが多かったと思われることから、意見交換の機会を設けて疑問を解決でき

る場をつくることは、連携体制および関係性の構築に有用と考えられた。

E. 結論

宮城県の2つの保健所を対象に、意見交換会および感染防止対策のための訓練を行う機会を設けた。開催の機会は、感染対策向上加算で求められている合同カンファレンスと同時開催とした。

実施内容に関する事前アンケートでは特段の要望はなく、また、実際の合同カンファレンスにおいても質問やコメントは今回は得られなかったが、今後このような機会を繰り返し設けることによって、より積極的に参加していただけると期待される。保健所との連携を強化するとともに、保険所が直面している課題や疑問の解決にも有用なカンファレンスへと発展させていきたい。

謝辞

お忙しい中アンケートや合同カンファレンス等に御協力いただきました、宮城県大崎保健所および塩釜保健所の担当者の方々に深謝いたします。

参考文献

1. 平成28年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 一類感染症の患者発生時に備えた治療・診断・感染管理等に関する研究（研究代表者・加藤康幸）. ウイルス性出血熱診療の手引き 2017.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課. ウイルス性出血熱への行政対応の手引き第二版.
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000->

<Kenkoukyoku/0000164709.pdf>

3. 国立感染症研究所. エボラ出血熱に対する積極的疫学調査実施要領～地方自治体向け（暫定版）第3版. 平成27年10月2日.
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/ebola/151002.pdf>.
4. 厚生労働省. 令和4年度診療報酬改定の概要 個別改定事項（感染症対策）.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000911809.pdf>
5. 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について（令和5年3月10日事務連絡）.
<https://www.mhlw.go.jp/content/001070762.pdf>

F. 健康危険情報

総括報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

資料1 合同カンファ後のアンケート

	大崎保健所	塩釜保健所
回答者	所長	所長
1. 今回のカンファレンスと訓練についてご意見はありますか	今年度から会議に参加するメンバーに医師会や保健所が加わったことより、地域における感染対策とする視点があっても良いかと思えます	訓練に参加された看護師さん方の反応が良く、PPEの着脱訓練をほとんど行っていないとお話でもあったため、目に見えて分かる貴重な機会であり、今後につながる訓練内容であったと思います。 当所としても、今後の指導の際などに、押さえるポイントの一つとして改めて学ぶことができました。
2. 次回のカンファレンスと訓練についてご希望はありますか	医師会の先生方にも広く参加してもらうのが良いかと思えます。	ぜひゾーニングについての訓練があれば、学ばせていただきたいと思えます。
3. 昨年のアンケートでおうかがいしました“医療機関との連携を深める方法、に関連して、以下をお教えいただけませんか		
3-2 本カンファが医療機関との連携を深めるための良い機会となった	はい	1回ではわからない
3-2 本カンファを医療機関との連携を深めるための良い機会としたいと思っていたが、ならなかった	いいえ	1回ではわからない
3-3 保健所管轄内の医療機関との連携を深めるため、意見交換の機会等は別途もうける予定である	はい	はい
備考	ちょうど、数日前から陽性患者の受け入れが開始されたので、保健所としてはベストなタイミングでした。 また、今回の会議に保健所が参加したことで、加美病院のスタッフと保健所の距離が近くなりました。	黒川医師会の理事会に出席し、情報交換しております